

## 日本旅行とタバコ

これは確か昨年のことです。私は友達と一緒に大阪に行きました。私は昔日本に行ったことがありましたが、友達に行ったことがありませんでした。私は友達に‘日本は本当に道が清潔だよ’と言いましたが、私が行ったのはかなり前で、最近の日本がどうなっているかわかりませんでした。

しかし、その疑問は日本に到着した瞬間に解決しました。やはり日本はきれいでした。うらやましかったです。韓国もこんな市民意識を持ったらいいのに…と思うほどでした。とにかくわたしは楽しく旅行をしました。おいしい食べものをたくさん食べたり、観光地を見たりしました。でも問題はその後始まりしました。

夜に私たちは‘ビールと焼き鳥が食べたいな’と思い、道頓堀に行きました。しかし朝の道頓堀と夜の道頓堀は180度違ってました。道を歩きながらタバコを吸う人が本当にたくさんいたのです。私はタバコを吸わないのでタバコのおいが本当に恐ろしく感じられました。しかし、韓国も歩きながらタバコを吸う人がいますが、罰金があるために日本より少ないと思いました。私たちはタバコのおいを避けて居酒屋に入りました。ビールと焼き鳥を食べながらいろいろな話をして、旅の思い出を作りました。

すると30分後、団体客が居酒屋に来ました。私は日本語が少しできるので、その人たちを案内する店員の日本語が聞こえてきました。そして私の耳を疑いました。「店員は喫煙者はあちらに、非喫煙者はこちらにお座りください」と言いました。私たちは知りませんでした。日本は居酒屋でもタバコを吸うことが可能だということを、. . . 私たちはビールと焼き鳥を食べていましたが、だんだん居酒屋の中にはタバコの煙と匂いでいっぱいになりました。私たちはもっと楽しみたかったけれど、仕方なく居酒屋から出て、ホテルに帰って行きました。最後までいい旅行にしたかったのですが、ちょっと残念な旅行でした。

私が思うには、日本は喫煙区域が本当に多いと思います。さらに、日本は飲食店、居酒屋のようなところで喫煙が可能なところがほとんどだと思います。それではなぜ喫煙ブース、喫煙区域を作ったのか理解できないのです。飲食店、居酒屋のような所は喫煙者、非喫煙者が一緒に利用する場所です。そこで喫煙をすれば、非喫煙者たちは被害を受けます。非喫煙者らも利用するところを規制するのが正しいと思います。例えば、韓国では公共の場所、飲食店、居酒屋は禁煙区域です。喫煙をするためには喫煙場所で喫煙をしなければならず、そうでなければ罰金を払わなければなりません。日本は喫煙区域と禁煙区域を明確に区分しなければならないと思います。非喫煙者も一緒に利用する場所は非喫煙区域に、そして非喫煙区域での喫煙をすれば罰金に終わらず、記録に残し、次にまた、喫煙すれば、もっと強い処罰を受けるように規定することもいいと思います。